津軽自動車道　浪岡五所川原道路の概要

津軽自動車道は青森市浪岡（東北道浪岡I.C）を起点とし、五所川原市を経て鰺ヶ沢町に至る延長約40kmの、一般国道101号の自動車専用道路です。津軽自動車道は東北縦貫自動車道（弘前線）と連結し、県都・青森市と津軽地方の交流をさらに深めるとともに、津軽地方の日常生活、経済活動等を支援する道路として重要な役割を担っています。

浪岡五所川原道路は、平成3年度に青森県で事業着手し、平成5年度より※直轄権限代行として国土交通省で事業をおこなっており、現在までに、国道7号と接続する交差点から五所川原東I.Cまでの延長８．１kmが開通しています。

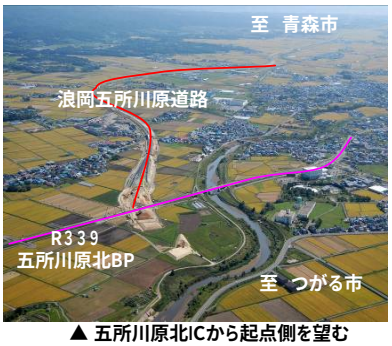
（※　直轄権限代行：事業内容が高度の技術を要するものや事業規模が大規模なものなど県に代わり、国が事業を行うこと。



▲ 五所川原東ICから終点側を望む



▲ 五所川原IC付近



▲ 五所川原北ICから起点側を望む

今回開通区間の計画諸元と事業の歩み

◆ 区　　間　　起点 ：　五所川原東(ごしょがわらひがし)I.C（五所川原市(ごしょがわらし)大字福山(おおあざふくやま)）

終点 ：　五所川原北(ごしょがわらきた)I.C（五所川原市(ごしょがわらし)大字太刀打(おおあざたちうち)）

◆ 延　　長　　L=7，６００m

◆ 計画幅員　　暫定　１２．０m（完成２２．０m）

◆ 車 線 数　　暫定２車線　（完成４車線）

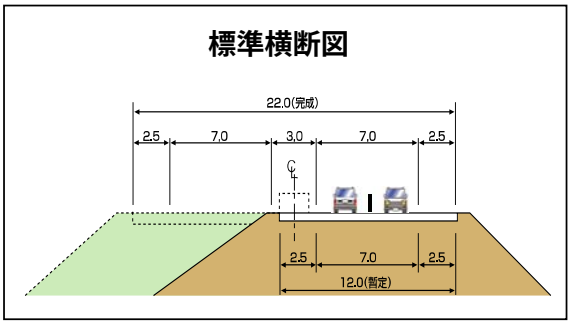
◆ 事業の歩み

平成5年度　直轄権限代行として国土交通省にて事業化

平成5年度　用地着手

平成6年度　工事着手

平成14年度　一部暫定供用（L=8,100m）



供用後の整備効果

① 県都・青森市への所要時間が短縮！

浪岡五所川原道路を活用した高規格幹線道路ネットワークが強化され、所要時間が短縮されます。

今回の浪岡五所川原道路の完成により、青森市～五所川原市間において、着工前と比較して通常期で17分、冬期で34分の短縮効果があります。　（通常期　54分→37分、　冬期　82分→48分）

② 渋滞ポイントの解消・緩和！

浪岡五所川原道路に交通が転換されることによって、現道の交通量が減少し、渋滞が緩和されます。

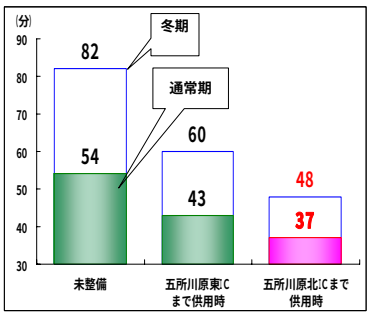
（渋滞ポイント　姥袋(うばやち)交差点　：　渋滞長L=350m　通過時間4分　→　渋滞緩和）

③ 人的交流や物流が促進！

大型ショッピングセンターへのアクセス向上が図られ、青森、弘前方面からの利用客の増加が期待されます。

④ 救急医療活動への支援！

迅速かつ安全な救急搬送が可能となり、医療サービスが向上するなど生活環境が向上します。



▲ 青森市～五所川原市までの移動時間推移


▲現在の国道101号　姥袋交差点の渋滞状況



▲県立中央病院までの所要時間